

事例 35

広島

雇用契約（フルタイム）

株式会社瀬戸内ブランド
コーポレーション

所在地 広島県広島市

創業年 2016 年 従業員数 25 人

コンサルティング事業、ファンド事業、
グループ会社による宿泊施設運営

当社初めての中期経営計画の策定

抽出された
経営課題

ミッション達成のための実行を伴う計画策定

当社では、宿泊施設運営の「自主事業」、事業者・自治体をクライアントとする「コンサルティング事業」、観光関連企業に資金を供給する「ファンド事業」という異なる特性の事業を抱えながら、「せとうちを世界一のサステナブルな観光産業の集積地とする」というミッション達成のための共通した目標を掲げる必要がありました。そこで、経営戦略立案や事業計画策定の経験をもつ柿内氏が中心となり、当社初めてとなる中期経営計画の策定をしていただきたと考えました。

プロ人材に
与えられた
ミッション

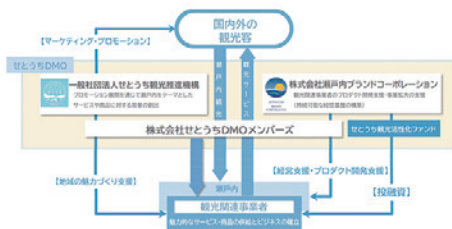
各部の事業方針とリンクした計画策定におけるリーダーシップ

当社は、「せとうちを世界一のサステナブルな観光産業の集積地にする」を達成するために、積極的な中途採用を行い、宿、食、地域産品、コンサルティング、金融など各分野のスペシャリストが在籍しています。それぞれが、各事業においてミッション達成のための独自の事業方針を掲げて事業に取り組んでいますが、一方で、事業会社として利益の創出から事業への再投資というサイクルも回していかなければなりません。柿内氏には、事業計画の策定において、各事業のリーダーを巻き込んで全体計画を策定するという役割を期待しました。

プロ人材が
もたらした
効果

各事業を取りまとめた、定性面・定量面を兼ね備えた 中期経営計画の策定

柿内氏は、中期経営計画の策定において、経営陣及び各事業責任者と密度の濃いコミュニケーションや議論を重ね、社員全員に浸透するミッション・ビジョン・バリューを作りました。また各事業についても課題を的確に捉え、戦略・戦術・アクションプランを整理し、社員全員が会社全体の方向性を理解でき、会社の将来に期待できる中期経営計画を作ることができました。



「せとうち DMO 概念図」

せとうち観光推進機構はマーケティング・プロモーションを実施し、瀬戸内ブランドコーポレーションは『せとうち観光活性化ファンド』などを活用した事業者支援を行っています。

プロ人材 かきうち まさや
柿内 将也 氏

【入社時のプロフィール】

役職名: 投資事業部 部長 年齢: 40 歳代 家族構成: --- 出身地: ---
還流ルート: その他 業務遂行手段: 遠隔業務と月数回の対面会議

主な経歴: ・大手企業での企業買収、財務担当
・企業買収、財務担当、ベンチャー企業での経営企画



入社したのは以前からやり取りのあったエージェントからのご紹介がきっかけでした。コロナ禍までインバウンドの旅行業に携わっていたこと、岡山県倉敷市に家族で移り住み瀬戸内エリアの観光に接していたこと、からまさに私に最適なお仕事だと思いました。現在は、これまでの経験やネットワークを生かした新規事業の立ち上げと、観光を産業として根付かせるための投融資を通じた資金の支援を行い、充実した日々を過ごしています。

企業からの声 代表取締役 たべい ともゆき
田部井 智行 氏

面接時の人柄はもちろんのこと、大企業とベンチャー企業という規模や組織風土が異なる企業での経営企画や CFO としてのキャリアに期待をしていました。入社後は、経営企画室長として、中期経営計画の策定に尽力して頂き、現在は、ファンド投資事業の責任者とインバウンド富裕層層をターゲットとした旅行事業の新規開業責任者を兼務し、私どもの期待以上の活躍をして頂いております。

